

## 彫刻 触れて感じて 新居浜で増本さん作品展

木や石の彫刻に手で触れ、自由に鑑賞してもらおう作品展が新居浜市坂井町2丁目のおかがねミュージアムで開かれていた。彫刻家DRILLMASUMOTO（ドリルーマスモト）として活動する増本達彦さん(52)は、松山東雲女子大准教授。会場には木彫や石彫、テラコッタ（素焼き）の新作など計12点が並び、中央には人間の顔や体が接触した瞬間を表現した丸みのあ

る木彫「ふれあいについで」を据え、手前に石彫「ハナレルコトモナイ」を設置。柔らかく、人々が新型コロナウイルスの感染リスクを

抑えようと、安心できる情報を集めて接触を避けて生きる現状を、奇妙な形の生き物で表現した木彫「安全なところを探す動物」も目を引く。

増本さんは21年の作品展の際、照明や展示表現の自由度を気に入って、2年連続でミュージアムでの開催を決めたという。「作品を見て、触れて、いろんな視点で楽しんでほしい」と話した。

クスノキの端材を紙やすりで削る創作体験も開催。5日午後2時から、増本さんによるギャラリートークがある。

（長谷川悠介）



手で触れて感じる彫刻を紹介する増本さん